

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2023年4月1日

事業所名 Buddy Go!

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		玄関に段差があるため、簡易スロープを導入してゆきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在はまだ外部評価を受けておりませんが少しずつ事業規模も大きくなって参りましたので今後前向きに検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			各プログラムにお子さまの見通しが付けばこれまでの内容に対する変化や新たな内容を組み入れています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		○		集団活動を基軸とする事業所ではございますがもう少し個別活動視点にもウエイトを置きながら支援計画の作成に努めます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している		○		送迎時や事業所でお会いした際に又はお電話にてさまざまな点でのお話をお聞きするようにはしておりますが不十分な面も多く、児発管を複数体制化することで強化してゆく所存です。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在、医療的ケアの必要なお子さまのご利用がございません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		特段の連携はございませんが、その必要性が生じた際には、積極的に連絡をするように致します。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		小学校低学年層のご利用が中心の事業所のため現在は、特段の連携はございません。その必要性が生じた際には、積極的に連絡をするように致します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		今後に必要なに応じて、積極的に助言を求めてまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			雨天時や真夏・真冬など気候に応じて児童館を活用。現地で地域の小学生と交流があります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		今後の案内に応じ積極的参加してまいります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時や事業所でお会いした際に又はお電話にてさまざまな点でのお話をお聞きするようにしております。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			事業所内でお子さまの普段の様子からご家族にも積極的支援が必要と推察される内容に関しては、推奨させていただいております。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			説明はお時間をかけてさせていただいておりますが、利用者負担額のご請求が遅れております。事務体制を強化してまいります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			相談を受けました場合には、内容に真摯に向き合い対応をさせていただいている所存です。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		情勢の状況や勤務されているお母さまも多く実施できていませんでしたが、事業所行事等で集まっていただけの機会を検討してゆきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している		○		苦情に対する対応の遅れや誠実さに欠ける部分もあり、お叱りを受けましたので管理体制を強化しまして迅速で適切な対応に努めてまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		以前は会報を発行しておりましたが、現在は休止状態にあり、今後早急に対応してまいります。
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		時節柄、地域住民をお誘いする形式には至っておりません。今後の情勢に合わせながら課題と致します。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		各マニュアルは作成しておりますが、周知徹底不足のため、事業所内に掲示、保護者の方にも配布をしております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			実施後の報告不十分のため改善いたします。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			説明はしております。実際に拘束の必要性のある児童のご利用はありませんが、今後対象者ご利用の際には支援計画に反映してゆきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		現在、医師の指導を仰ぐアレルギー対象児童のご利用はありませんが、必要に応じて対応致します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			